

報 道 資 料

令和6年（2024年）7月19日

報道機関各位

総務部災害対策課長

令和6年度函館市防災総合訓練（住民参加型訓練）について（依頼）

このことについて、災害時における円滑な応急対策の推進と市民の防災意識の高揚を図るため、下記の通り訓練を行いますので、取材および報道方についてよろしくお願いします。

記

1 訓練日時

令和6年7月30日（火）13時00分～14時30分

2 訓練会場

函館市立八幡小学校（函館市八幡町15-30）

3 訓練内容

別紙参照

4 その他

警報等が発表または災害が発生した場合、荒天が予測され早期注意情報により警報級の可能性が発表された場合は、災害対応および警戒体制確保のため訓練を中止します。

〈お問い合わせ先〉

函館市総務部災害対策課

電話 21-3677 三鹿（さんか）

令和6年度函館市防災総合訓練（住民参加型訓練）実施計画

- 1 訓練名称 住民参加型訓練
- 2 目的 地震その他の災害時における円滑な応急対策の推進と市民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。
- 3 実施日時 令和6年7月30日（火）13時00分～14時30分
- 4 実施場所 函館市立八幡小学校（八幡町15-30）
- 5 主催 函館市防災会議
- 6 特記事項 ペット同行の避難行動の実施
- 7 訓練想定 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による太平洋沿岸の浸水想定を踏まえた津波避難を想定とする。
- 8 参加機関 (1)函館地方気象台〔1〕，(2)函館西警察署〔4〕
(3)函館市函館消防団〔21〕，(4)函館地区トラック協会〔2〕
(5)NTT 東日本-北海道 北海道支店 北海道南営業支店〔2〕
町会等 (1)八幡町会〔16〕，(2)亀田町民会〔9〕，(3)宮前町会〔6〕
(4)八幡小学校〔2〕，(5)地域包括支援センターときとう〔8〕
函館市〔11〕（教育2，市民部2，総務部7）
〔 〕内数字は，参加予定人数を示す。
- 9 訓練項目 (1)情報伝達訓練，(2)避難広報・誘導訓練，(3)住民避難訓練，
(4)避難所地域協力員施設解錠訓練，(5)避難所運営訓練（開設・受付）
(6)防災資機材組立体験，(7)展示資機材体験・研修
(8)緊急物資受入訓練
- 10 その他 (1) 警報等が発表または災害が発生した場合，荒天が予測され早期注意情報により警報級の可能性が発表された場合は，災害対応および警戒体制確保のため訓練を中止します。
(2) 訓練に要する経費は，各訓練参加機関において負担する。

令和6年度函館市防災総合訓練（住民参加型訓練）タイムスケジュール

令和6年7月30日（火）八幡小学校

No	訓練項目	参加機関・団体等	時間 (分)	タイムスケジュール									
				13:00	13:30	14:00	14:30	15:00					
1	情報伝達訓練	函館地方気象台, 市対策本部	3	訓練 準備									
2	避難広報・誘導訓練	函館西警察署 函館市函館消防団	25						13:00~13:03	13:05~13:30			
3	住民避難訓練	八幡町会, 亀田町民会, 宮前町会 地域包括支援センターときとう (以下ときとう), 八幡小学校	30						13:00~13:30				
4	避難所地域協力員 施設解錠訓練	八幡町会, 八幡小学校, 函館市	10						13:35~13:45				
5	避難所運営訓練 (開設・受付)	八幡町会, 亀田町民会, 宮前町会 ときとう, 八幡小学校, 函館市	10							13:30~13:40			
6	防災資機材組立体験	八幡町会, 亀田町民会, 宮前町会 ときとう, 八幡小学校, 函館市	35							(A) 13:40~14:00 八幡町会 (B) 14:00~14:15 亀田町民会 宮前町会			
7	展示資機材 体験・研修	八幡町会, 亀田町民会, 宮前町会 ときとう, 八幡小学校, 函館地方気象台 NTT東日本-北海道 北海道南支店, 函館市	35							(B) 13:40~14:00 亀田町民会 宮前町会 (A) 14:00~14:15 八幡町会			
8	緊急物資受入訓練	八幡町会, 亀田町民会, 宮前町会 ときとう, 八幡小学校, 函館地区トラック協会	10								14:15~14:25		
9	講評	参加者全員, 函館市	5									14:25~14:30	

訓練内容

No	実施項目	目的	実施内容
1	情報伝達訓練	伝達手段を確保して、迅速かつ確かな情報収集・伝達を行い、効率的な災害応急対策の実施を図る。	①気象台から市総務部への【訓練】災害情報をFAXにより伝達
2	避難広報・誘導訓練	市民に対し、避難広報誘導を行い、迅速な避難行動を促す。	①津波到達時刻を考慮した退避時間の設定 ②車両での広報により市民への周知・誘導
3	住民避難訓練	自宅等から避難所まで安全かつ迅速な避難を図る。	①自らの安全を確保 ②非常持出し品の携行・近所への呼びかけ ③適切な経路選定・迅速な避難
4	避難所地域協力員 施設解錠訓練	避難所地域協力員による、迅速な避難所施設の解錠・点検や、安全な避難者受入に繋げる。	①自らの安全を確保し、迅速に施設を解錠する ②施設外観・内部の安全確認 ③避難者の受入・誘導
5	避難所運営訓練 (開設・受付)	ペット同行者や感染者等の避難者受入体制を迅速かつ確に整え対応する。	①施設利用計画の確認（動線含む） ②受付等の準備, 受入 ③健康状態等の確認 ④避難者カードの記入依頼・案内誘導 ⑤災害対策本部への報告
6	防災資機材組立体験	防災資機材の組立を行い、備蓄品の機能性や使用方法の理解を深める。	①感染症対策の保持 ②避難者協働の実施 ③寝心地座り心地を体験
7	展示資機材 体験・研修	各種展示物を見学して、防災知識の向上を図る。	①展示物の見学・体験・研修 ②リーフレット等の受領
8	緊急物資受入訓練	緊急物資の受入体制を整え、災害時における円滑な生活救援活動の実施に繋げる。	①輸送トラックから体育館へ協力して搬入 ②仕分け集積